

一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)

五感で楽しむ日本の伝統文化

◎志木高等学校 教諭 池田卓也
いけだたくや

志木高等学校では、第3学年次に自由選択科目を設けています。生徒諸君は20以上の開講科目のなかから、自らの進路や興味・関心に応じて5科目計10単位を選択履修します。単位の増減はあるものの、その歴史は古く、1971年度（本校22期生）から約半世紀にわたって続いています。必修科目以上に教員の専門性や創意工夫が求められることから、第2学年次に24の国や地域の言語・文化から選択履修する「ことばと文化」などと並んで、本校の教育課程の中核を担う存在となっています。

このうち私が担当しているのは「日本文化 基礎のキソ」（社会A）。必修科目として別途担当する日本史の授業が政治や法制を中心とする通史であることから、こちらは主に文化を扱い、「まずは日本の伝統文化に実際に触れてみよう！」をキー・コンセプトに展開しています。2008年度以来おおよそ隔年で開講しており、6回目の今年度は4クラス計約80名の諸君が履修しています。



入れるよう努めています。

そんななか年間を通して主軸に据えているのが、一つは変体仮名の解読演習です。街で見かける看板の類いから、福澤諭吉の著作、双六や古地図・絵図、茶書、平安期の古筆、絵巻物の詞書ことばがきなど、時々と並行して取り上げるテーマと関連づけつつ、徐々にレベルを上げて読み進めています（初心者向けの素材をお持ちの方はご提供いただけると助かります！）。演習を通して、解読能力の向上はもちろんのこと、履修者諸君が古典籍の価値を認め、その保存や活用に理解を示せる人材となってくれることを願っています。

もう一つは茶の湯の実習。本校には専用の茶室はありませんが、去来舎きらいしゃの和室を利用して、割稽古わりげこののち、盆略点前ぼんりやくてんぜんに挑戦しています。最初は未知の世界にまどう履修者諸君ですが、そこは志木高生、ひとたびコツをつかむとメキメキ上

達します。2014・2018年度には稽古と成果披露を兼ねて本校の収穫祭で「志木高茶寮」の名で呈茶を行い、幸いにもご好評いただきました。履修者諸君にとっても、普段の仲間とは異なる来場者の皆さまに薄茶を差し上げたことで、自らの点前を改めて意識する絶好の機会となったようです。

授業で重視しているのは、日本のいわゆる伝統文化について、後述する変体仮名や茶の湯をはじめ、建築、庭園、絵巻物、浮世絵や雅楽、聞香などのテーマを、五感を意識しながら可能な限り紹介し、履修者諸君が「実際に自分

でできること」を増やすことです。そのため、授業では画像・映像資料を用いた講義に加え、演習・実習形式を多く取り

茶室や教材・道具の整備も含め、課題は多くありますが、志木高ならではの魅力ある授業を目指して、今後も引き続き研鑽を積んでいきたいと思っています。